

平成 28 年度

沖縄県立埋蔵文化財センター

年 報



目 次

I 概 要

1. 設置目的	1
2. 沖縄県立埋蔵文化財センターの歩み	1
3. 施設の概要	2
4. 組織と職員一覧（平成 28 年度）	4
5. 調査業務	
(1) 発掘調査	5
(2) 資料整理	5
6. 資料の貸出・利用	6
7. 普及・活用	
(1) 常設展示及び屋外展示等	6
(2) 団体見学	9

II 平成 28 年度の報告

1. 予算及び決算	
(1) 埋蔵文化財センター主要事業及び内訳	10
(2) 財源内訳	10
2. 発掘調査等	
(1) 分布調査、試掘・確認調査	11
(2) 保存・活用目的の調査	11
(3) 記録保存調査	11
(4) 工事立会	11
(5) 市町村支援	11
(6) 資料整理・報告書作成	12
3. 普及・活用	
(1) 入所者一覧	14
(2) 団体見学一覧	15
(3) 活動実績	16
4. 資料の貸出・利用	
(1) 資料の貸出件数	18
(2) 資料の利用件数	19
5. 研修・職員派遣	
(1) 研修	19
(2) 職員派遣	19

Ⅰ 概要

1. 設置目的

沖縄県立埋蔵文化財センターは、埋蔵文化財の調査研究及び保存を行うとともに、その活用を図り、教育、学術及び文化の発展に資する目的で設置され、次の業務を行っている。

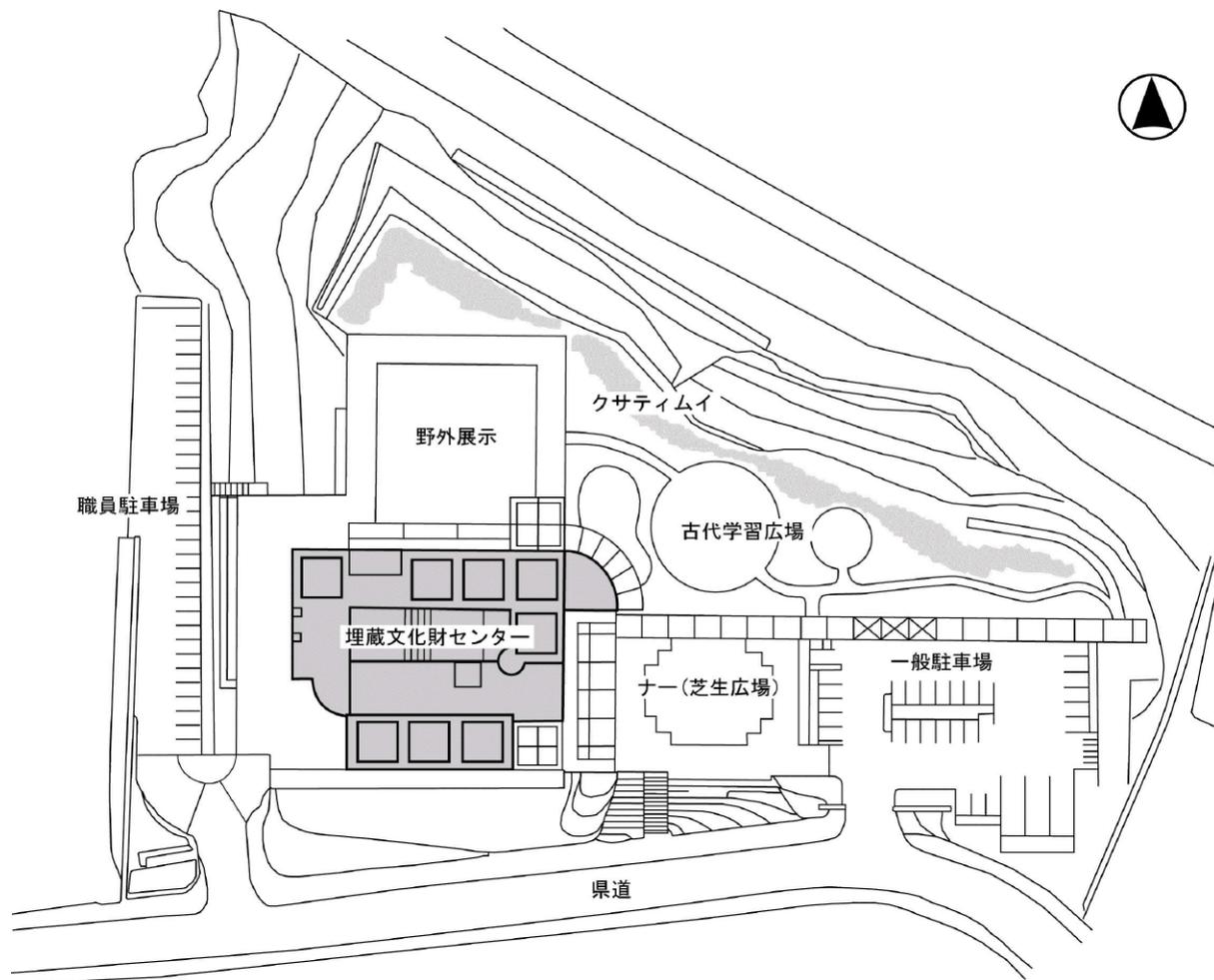
- (1) 埋蔵文化財の調査研究
- (2) 埋蔵文化財及び埋蔵文化財に関する資料の収集、保存及び活用
- (3) 埋蔵文化財に関する知識の普及
- (4) 埋蔵文化財の調査に関する指導及び研修
- (5) 前各号に掲げるもののほか、埋蔵文化財センターの設置目的を達成するために必要な業務

2. 沖縄県立埋蔵文化財センターの歩み

- | | |
|--------------|---|
| 平成 5 年 3 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター基本構想が承認される。 |
| 平成 6 年 10 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター基本計画が策定される。 |
| 平成 7 年 3 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター基本設計完了 |
| 平成 7 年 11 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター実施設計完了 |
| 平成 10 年 10 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター建設工事着工 |
| 平成 11 年 10 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター建設工事竣工 |
| 平成 11 年 12 月 | 平成 11 年第 7 回沖縄県議会で「沖縄県立教育機関設置条例の一部を改正する条例」が可決、沖縄県立埋蔵文化財センターの設置が承認される。 |
| 平成 12 年 3 月 | 定例県教育委員会で「沖縄県立埋蔵文化財センターの管理に関する規則」が承認される。 |
| 平成 12 年 3 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター展示、外構、植栽工事完了 |
| 平成 12 年 4 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター開所 |
| 平成 13 年 3 月 | 企画展示室除湿工事完了 |
| 平成 14 年 3 月 | 収蔵庫空調設備工事完了 |

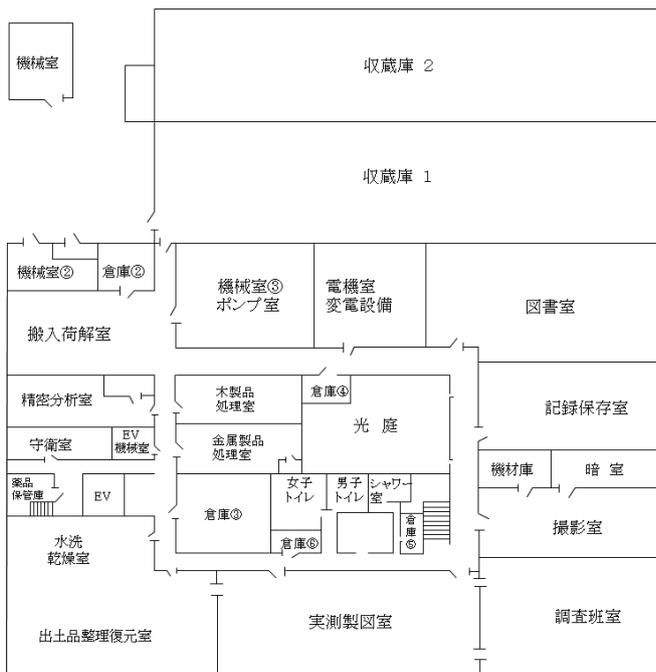
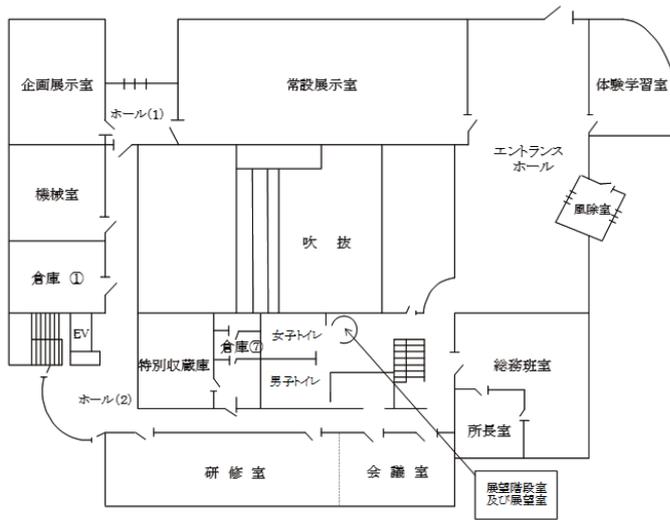
3. 施設の概要

地名・地番	沖縄県中頭郡西原町字上原 193 番地の 7
敷地面積	15,635 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
規模	地上 2 階
建築面積	3,688.29 m ²
延床面積	4,179.88 m ²



埋蔵文化財センター配置図

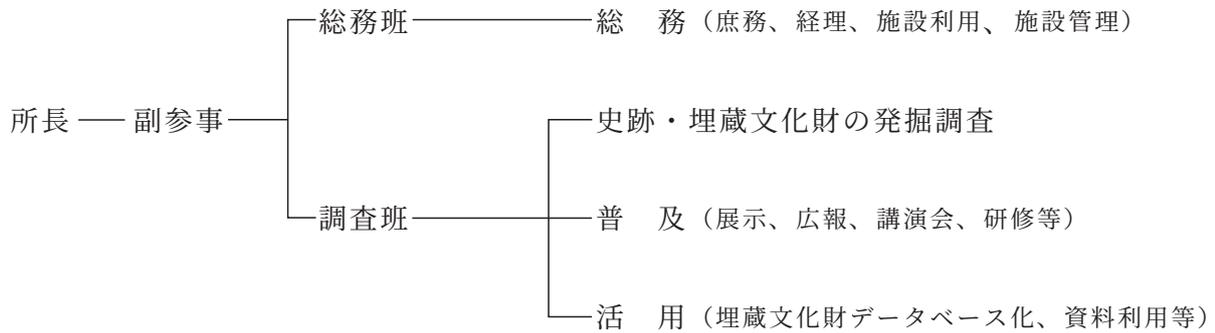
建物室別面積



区分	室名	面積 (m ²)
展望室	展望室	14.33
	展望階段室	14.33
	小計	28.66
2階	エントランスホール	161.24
	体験学習室	64.80
	常設展示室	170.84
	企画展示室	87.80
	研修室	170.58
	会議室	86.39
	特別収蔵庫	69.70
	総務班室	66.55
	所長室	20.63
	給湯室・トイレ等	398.02
小計	1296.55	
1階	収蔵庫	1319.76
	搬入荷解室	52.04
	木製品処理室	33.89
	金属製品処理室	35.01
	精密分析室	40.32
	水洗乾燥室	57.01
	出土品整理復元室	124.71
	実測製図室	206.84
	調査班室	101.10
	撮影室	66.99
	記録保存室	85.19
	図書室	118.21
	機械室	109.82
給湯室・トイレ等	480.73	
小計	2831.62	
屋外機械室	23.05	
合計	4179.88	

4. 組織と職員一覧（平成28年度）

【組織】



【職員一覧】

所長 金城 亀 信
副参事 濱口 寿 夫

総務班	
職名	氏名
総務班長	比嘉智博
主査	新里靖
主査	比嘉睦
主任	糸数晃子
主事	當山彬

調査班	
職名	氏名
調査班長	仲座久宜
指導主事	久高健
主任専門員	長嶺均
主任専門員	山本正昭
主任専門員	瀬戸哲也
主任専門員	新垣力
主任	大堀皓平
主任	金城貴子
主任	具志堅清大
主任	亀島慎吾
主任	宮城淳一
専門員(新)	南勇輔
専門員(新)	玉城綾
専門員(新)	田村薫

5. 調査業務

(1) 発掘調査

沖縄県立埋蔵文化財センターにおける発掘調査を予算で分類すると、大きく文化庁国庫補助事業と、受託・分任事業の二つに分けられる。

文化庁国庫補助事業には、埋蔵文化財の分布状況や範囲等を把握し、埋蔵文化財を保護する際の基礎資料を収集するために行われる表面踏査、試掘調査、確認調査のほか、重要遺跡を保存・活用するための発掘調査も含まれる。

一方で、受託・分任事業で行う発掘調査は、開発工事及び公園整備により破壊される部分についてやむを得ず記録保存するために実施され、調査後は現地に遺跡が残らないことが多い。記録保存のための発掘調査に係る費用は開発側に協力してもらっている。なお、開発側が沖縄県以外の場合は受託事業、開発側が沖縄県の場合は分任事業となる。

(2) 資料整理

遺跡の発掘調査により得られた出土品は、下表の流れで整理され、遺構図や写真等とともに発掘調査報告書に掲載される。

発掘調査報告書の刊行をもって発掘調査事業の完了となるが、資料整理には複数年を要することがほとんどである。

発掘調査事業完了後も、出土品、写真、図面等の記録類は適切に埋蔵文化財センターで保管され、展示会等による公開のほか、国内外の研究者等による資料調査等に活用される。

資料整理の流れ

STEP 1 洗 浄	出土品についた土などをきれいに落とす（基本的に現場で実施）。
STEP 2 注記・分類	出土品の一点一点に遺跡名や出土地点、出土日などの情報を書く（注記）。その後、土器、石器、陶磁器など種類別に分ける作業を行う（分類）。
STEP 3 接合・拔出し	出土品の多くが小破片のため、できるだけものの形が分かるように破片同士をつなぎあわせる（接合）。その後、調査報告書に掲載する出土品を選ぶ（拔出し）。
STEP 4 実測・復元	出土品をよく観察し、形状や特徴などが分かるように、平面・断面・側面図などを作成する（基本的に実物大）。作成した図面をもとに、出土品をもとの形に復元する。破片が見つからなかった部分は、必要に応じて石膏などで補う。
STEP 5 トレース	報告書に掲載するために、実測した図をきれいになぞる。
STEP 6 写真撮影	報告書に掲載するための写真を撮影する。
STEP 7 図・図版作成	トレースした図や写真をページ毎に配置して番号等を付す。

6. 資料の貸出・利用

沖縄県立埋蔵文化財センターで保管・管理している資料（出土遺物・写真類・文献等）は、遺物展示や図録掲載などで各教育機関や博物館等が利用する際に、資料貸出を行っている。また、報道機関等からの利用希望があった際には、写真の提供を行っている。出土遺物に関しては、国内外の研究者等の資料閲覧を受け入れている。

当センター所蔵資料を利用する際には、「沖縄県立埋蔵文化財センター 所蔵」と明記するとともに、図録や論文等に掲載した場合は、掲載資料を2部寄贈することとなっている。

貸出及び閲覧等の申請書類の様式は、ホームページに掲載しているが、前述したように他機関へ貸出している場合があるので、事前に資料の利用可否や閲覧日等について連絡調整が必要となっている。

7. 普及・活用

沖縄県立埋蔵文化財センターでは、埋蔵文化財に関する資料の保存（記録）と活用を図ると同時に、知識の普及を通じて教育や学術及び文化の発展に寄与することを目的としている。

具体的には、団体見学の受け入れや体験教室、企画展、文化講座の開催を始め、資料の貸出しと図書閲覧室の利用などを通して埋蔵文化財に関する情報の活用を図り、県民をはじめとする多くの人々が、沖縄県の埋蔵文化財の重要性について理解を深められるようにしている。

（1）常設展示及び屋外展示等

①常設展示室（170.84㎡）

常設展示室（図1）では、遺物や遺跡を展示・紹介することで、沖縄県の歴史や文化が理解できるような展示を行っている。常設展示室では、9つのテーマにそったコーナー展示を設け、中央にはこれまで発掘した遺跡をもとに再現した「2000年前の琉球のムラ」のジオラマ（模型）と当時の食べ物を復元した「琉球御前」の展示ケースを設置し、2000年前の埋葬施設を復元した「石棺墓の半截模型」を展示している。また平成29年1月より、当センターが所蔵する一押しの逸品を、月替わりで展示する「まいコレ（埋文コレクション）」を展示している。

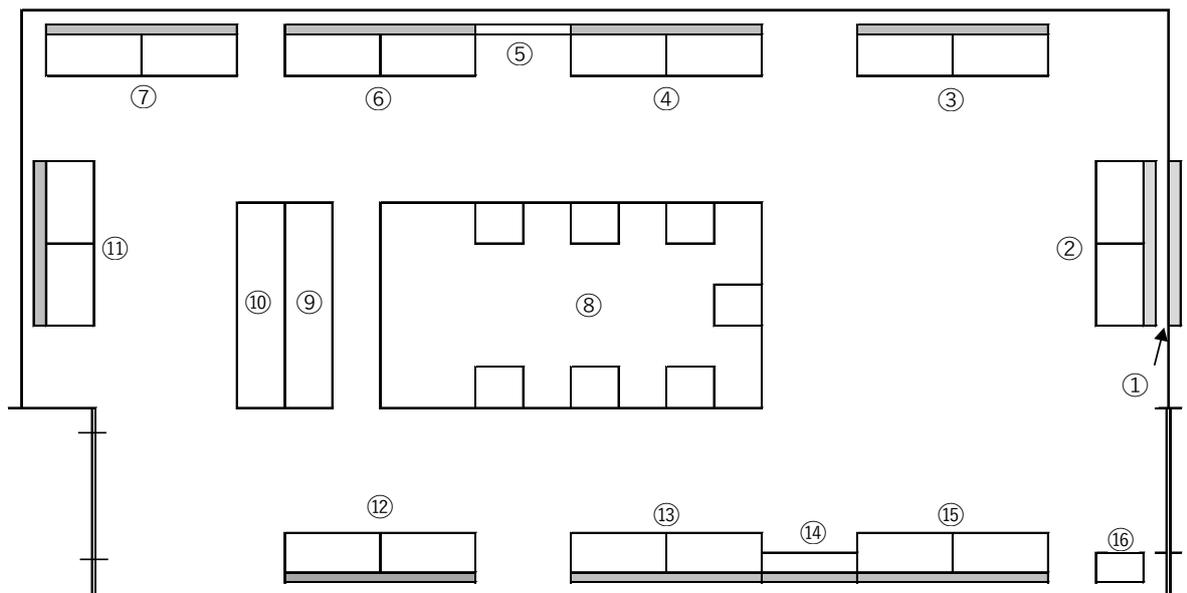


図1 常設展示室

【展示内容】

- ① 沖縄県主要遺跡分布図
- ② 沖縄新石器時代人はどういう所に住んでいたのか
- ③ 沖縄にはいつごろから人が住みついたのか
- ④ 土器で見る沖縄先史時代の文化圏
- ⑤ 具志川島岩立遺跡西区より剥ぎ取った土層
- ⑥ 住まいと道具－1
- ⑦ 貝の道
- ⑧ 再現された「2000年前の琉球のムラ」（ジオラマ）
- ⑨ 復元した「琉球御前」
- ⑩ 復元した「石棺墓の半截模型」
- ⑪ グスクの移り変わり
- ⑫ 海外交易を物語る貿易陶磁器
- ⑬ 沖縄の古窯
- ⑭ 沖縄県の戦争遺跡
- ⑮ 先史時代の宮古・八重山諸島
- ⑯ まいコレ（埋文コレクション）

②体験学習室（64.80 m²）

体験学習室（図2）では、実際に手で触れたり、体験したりすることを通じて、当センターの活動や、先人の知恵や生活について理解を深めてもらう活動を行っている。

体験学習室に入って右側のコーナーでは、埋蔵文化財センターで行っている「発掘調査」や「資料整理」の活動をパネルでわかりやすく説明している。またトレース台や実測機を置いて、「資料整理」の活動を体験できるようにしている。

また窓際のテーブルでは、「資料整理」の接合の作業を体験してもらうため、当センターで所蔵している遺物の写真を使ったパズルを設置している。

さらに体験学習室の真ん中にある円形のテーブルには、沖縄諸島で発掘されている縄文時代の主な土器のレプリカを並べ、実際に手で触ったり、持ったりしてもらうことで、縄文時代の人々の生活を肌で感じられるようにしている。

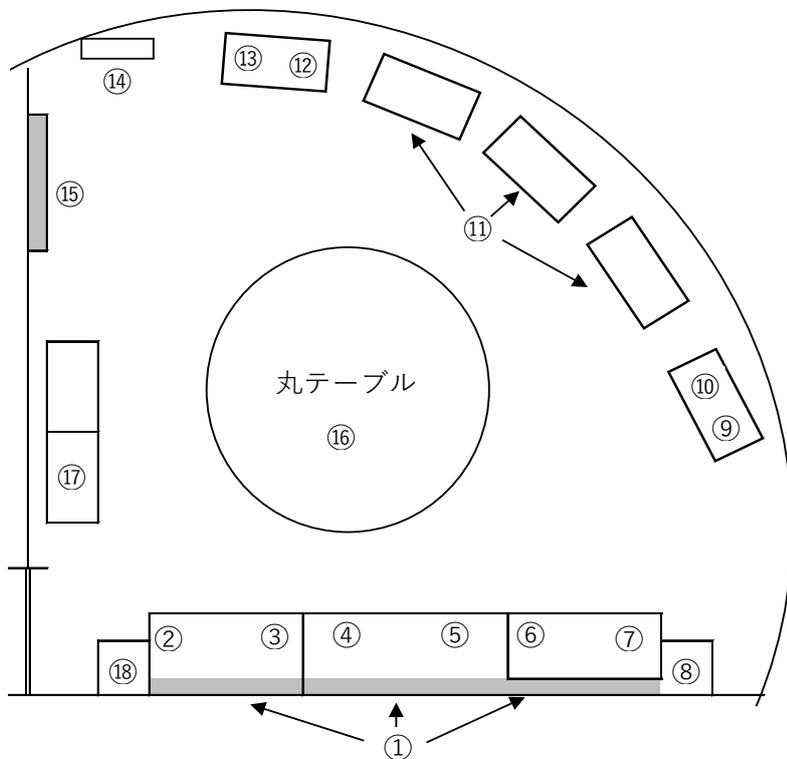


図2 体験学習室

【展示内容】

- | | |
|--|--------------------------|
| ① パネル「発掘調査ってどう掘るの？」
「資料整理の様子をのぞいてみよう」 | ⑩ 日本で一番古いお墓 |
| ② トレース台 | ⑪ 接合にチャレンジ（パズル） |
| ③ 実測機 | ⑫ 土器の文様をつけてみよう。 |
| ④ 接合・復元 | ⑬ ペーパークラフトをつくってみよう。 |
| ⑤ ナンバーリング | ⑭ ロールスクリーン（仲原遺跡） |
| ⑥ 洗い作業 | ⑮ 重要文化財首里城京の内跡出土品
パズル |
| ⑦ 型式学 | ⑯ 縄文時代の主な土器 |
| ⑧ 発掘調査で使う道具 | ⑰ 火起こし器 |
| ⑨ 黒曜石はどれだ？ | ⑱ 古代人になってみよう |

③企画展示室（87.80 m²）

企画展の会場として使用している。企画展示室中のエアータイト（備えつけ展示ケース）は、密閉して空調（温湿度）を管理することができ、国指定重要文化財の展示にも対応できる。

④古代学習広場

「古代学習広場」は、「親子体験学習」や「火おこし体験」、「土器づくり」等で活用している。

⑤研修室（170.58 m²）

考古学に関する会議や研修、または文化講座等を開催している。

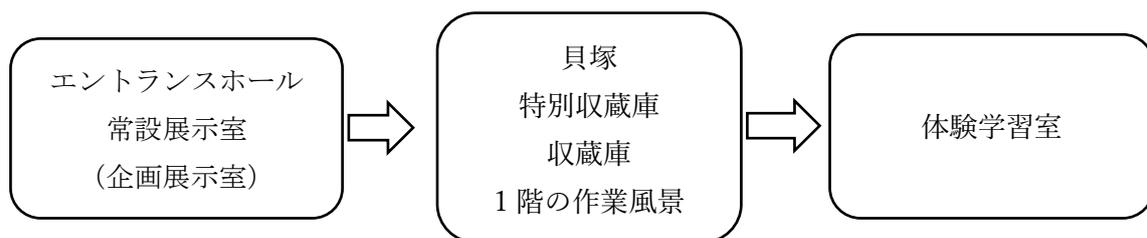
⑥屋外展示（貝塚コーナー）

埋蔵文化財センター入口に向かって左手に、貝塚コーナーを設置している。伊江村にあるナガラ原西貝塚と阿良貝塚から発掘された貝殻を使用して貝塚を再現しており、自由に手にとって貝を見ることができる。

（2）団体見学

当センターは、学校や自治会などの様々な団体の団体見学を受け入れており、その際担当職員によるガイド（解説案内）を行っている。団体見学の際は、常時公開されている常設展示室や企画展示室、体験学習室の案内以外にも、収蔵庫の見学や当センターでの業務の様子の見学なども実施している。

【団体見学のモデルコース】



【団体見学受付の際の注意事項】

- ・ 団体見学は、10名様以上の団体が対象。
- ・ 団体見학을希望する際には、「団体見学ガイド申込書」を提出する。
- ・ 団体見学ガイドを申し込む場合は、希望日の1週間前までに電話で確認する。
- ・ 「団体見学ガイド申込書」は、希望日の5日前までに提出する。FAX受付の場合は原本を当日持参して提出する。
- ・ 団体見学は原則として休所日を除く火曜日～金曜日（9時～17時）に実施している。

II 平成 28 年度の報告

1. 予算及び決算

(1) 埋蔵文化財センター主要事業及び内訳

単位：円

事業区分	事業名	当初予算	補正額等	最終予算	決算額	繰越額	
国庫補助事業	(1) 県内遺跡発掘調査等	146,785,000	▲ 41,408,470	105,376,530	99,213,964	0	
	(文化庁計上分)						
	(2) 京の内跡出土陶磁器保存修理	5,000,000	0	5,000,000	4,932,620	0	
	国宝重要文化財等 保存整備費補助金	5,680,000	42,470	5,722,470	5,686,755	0	
	(4) 円覚寺跡保存整備	19,183,000	▲ 14,434,400	4,748,600	4,290,440	0	
	国庫補助事業計	176,648,000	▲ 55,800,400	120,847,600	114,123,779	0	
受託事業	(受託元) 沖縄総合事務局	(1) 首里城跡発掘調査	44,856,000	▲ 191,660	44,664,340	40,339,120	0
	(受託元) 沖縄防衛局	(2) 海軍病院発掘調査	15,320,000	0	15,320,000	9,563,000	0
	(受託元) 国土交通省大阪航空 局	(3) 大嶺村跡発掘調査	64,195,000	0	64,195,000	62,283,802	0
	(受託元) 沖縄防衛局	(4) 神山古集落遺跡発掘調査	33,000,000	0	33,000,000	32,619,936	0
		受託事業計	157,371,000	▲ 191,660	157,179,340	144,805,858	0
分任事業	(分任元) 沖縄県土木建築部	首里城公園発掘調査(現年)	47,658,000	▲ 3,945,837	43,712,163	41,353,899	2,358,264
	(分任元) 沖縄県土木建築部	首里城公園発掘調査(繰越)	468,970	▲ 995	467,975	467,975	0
		分任事業計	48,126,970	▲ 3,946,832	44,180,138	41,821,874	2,358,264
県単事業	学校建設費	首里高校内埋蔵文化財発掘調査	75,007,000	▲ 126,000	74,881,000	64,373,669	4,428,000
	人材育成推進費	東村跡発掘調査	14,050,000	60,000	14,110,000	11,750,318	0
	文化施設事業費	埋蔵文化財センター事業費	19,868,000	0	19,868,000	18,836,409	0
		県単事業計	108,925,000	▲ 66,000	108,859,000	94,960,396	4,428,000
総合計		491,070,970	▲ 60,004,892	431,066,078	395,711,907	6,786,264	

(2) 財源内訳

単位：円

事業区分	合計	国庫	特定財源	県債	一般
当初予算額	491,070,970	166,345,970	157,371,000	0	167,354,000
補正額等	▲ 60,004,892	▲ 41,780,283	▲ 191,660	0	▲ 18,032,949
最終予算	431,066,078	124,565,687	157,179,340	0	149,321,051
決算額	395,711,907	114,916,423	144,805,858	0	135,989,626
繰越額	6,786,264	2,358,264	0	0	4,428,000

2. 発掘調査等

(1) 分布調査、試掘・確認調査

No.	遺跡名等	所在地	担当者	調査の目的	調査期間	調査面積	時代/種類
1	白保竿根田原洞穴遺跡	石垣市(新石垣空港敷地内)	仲座久宜、 亀島慎吾	埋蔵文化財の 範囲・内容の 確認	平成28年6月 27日～平成28 年7月8日	2㎡	旧石器・下田原期・ 中森期/洞穴遺跡
2	喜友名下原第一遺跡、喜友名下原第二遺跡、喜友名山川原第七遺跡、喜友名古水田跡 (基地内文化財分布調査)	宜野湾市(旧キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区)	瀬戸哲也、 具志堅清大、 南勇輔、 玉城綾	埋蔵文化財の 有無・範囲の 確認	平成28年7月 1日～平成28 年12月9日	864㎡	先史・グスク・近世・ 近代/集落跡、生産 遺跡、散布地
3	真珠道跡	那覇市	山本正昭、 宮城淳一、 田村薫	首里城公園整 備事業に伴う 遺構確認	平成28年8月 1日～平成28 年10月31日	71㎡	グスク・近世・近 代/交通遺跡
4	中城御殿跡	那覇市	山本正昭、 宮城淳一、 田村薫	首里城公園整 備事業に伴う 遺構確認	平成28年10月 12日～平成28 年11月11日	130㎡	グスク・近世・近 代/屋敷跡

(2) 保存・活用目的の調査

No.	遺跡名等	所在地	担当者	調査の目的	調査期間	調査面積	時代/種類
1	円覚寺跡	那覇市	金城貴子、 田村薫	円覚寺保存整 備事業に伴う 遺構確認調査	平成28年7月 1日～平成28 年9月26日	30㎡	グスク・近世・近 代/寺院跡

(3) 記録保存調査

No.	遺跡名等	所在地	担当者	調査の目的	調査期間	調査面積	時代/種類
1	大嶺村跡	那覇市	大堀皓平	那覇空港事務 所管制塔庁舎 新築工事及び MRO整備に伴 う埋設管設置	平成28年3月 1日～平成28 年7月20日	約2,500㎡	弥生～平安並行・ グスク・近世～近 代/集落跡

(4) 工事立会

No.	遺跡名等	所在地	担当者	契機	期間	面積	時代/種類
1	中城御殿跡(首里高校内)	那覇市	亀島慎吾	校舎改築に伴 う確認調査	平成29年1月 10日～平成29 年1月17日 平成29年3月 30日	—	グスク・近世/屋敷 跡

(5) 市町村支援

No.	遺跡名等	所在地	担当者	調査の目的	期間	面積	時代/種類
	(なし)						

(6) 資料整理・報告書作成

No.	遺跡名・報告書名等	所在地	担当者	分析指導・協力等	経費負担	調査年度	刊行年月
1	白保竿根田原洞穴遺跡 重要遺跡範囲確認調査報告書1-事実報告編-(第85集)	石垣市	仲座久宜	分析指導：神谷厚昭(元県立高校教諭)、吉村和久(九州大学名誉教授)、小畑弘己(熊本大学文学部教授) 調査指導委員会：稲田孝司(岡山大学名誉教授)、安里嗣淳(サンゴ礁文化研究所所長)、石原与四郎(福岡大学理学部助教)、神谷厚昭(元県立高校教諭)、佐藤宏之(東京大学大学院教授)、土肥直美(琉球大学医学部非常勤講師)、吉村和久(九州大学名誉教授)	文化庁 県	平成24～28	平成29年3月
2	白保竿根田原洞穴遺跡 重要遺跡範囲確認調査報告書2-総括報告編-(第86集)	石垣市	仲座久宜	分析指導：神谷厚昭(元県立高校教諭)、吉村和久(九州大学名誉教授)、小畑弘己(熊本大学文学部教授) 調査指導委員会：稲田孝司(岡山大学名誉教授)、安里嗣淳(サンゴ礁文化研究所所長)、石原与四郎(福岡大学理学部助教)、神谷厚昭(元県立高校教諭)、佐藤宏之(東京大学大学院教授)、土肥直美(琉球大学医学部非常勤講師)、吉村和久(九州大学名誉教授)	文化庁 県	平成24～28	平成29年3月
3	沖縄県の水中遺跡・沿岸遺跡-沿岸地域遺跡分布調査報告-(第87集)	沖縄県	新垣力	-	文化庁 県	平成16・17・19～21	平成29年3月
4	首里城跡御内原東地区遺跡発掘調査報告書(第88集)	那覇市	新垣力 瀬戸哲也	-	内閣府沖縄総合事務局(国営沖縄記念公園事務所)	平成23～24	平成29年3月
5	首里城跡京の内跡発掘調査報告書(VI)-平成6年度調査の遺物編(3)-(第89集)	那覇市	金城亀信	久保智康(元京都国立博物館名誉館員) 野上健紀(長崎大学多文化社会学部准教授)	内閣府沖縄総合事務局(国営沖縄記念公園事務所)	平成6	平成29年3月
6	キャンプ瑞慶覧内病院地区に係る文化財発掘調査報告書4-普天間古集落遺跡・普天間後原第二遺跡-(第90集)	宜野湾市(キャンプ瑞慶覧内)	具志堅清大 南勇輔	半澤武彦(岩手県教育委員会)	沖縄防衛局	平成24～25	平成29年3月
7	松崎馬場跡-県営首里城公園松崎馬場跡発掘調査報告書(1)-(第91集)	那覇市	山本正昭	久保智康(元京都国立博物館名誉館員)	県土木建築部(都市計画・モノレール課)	平成21・23	平成29年3月
8	東村跡-沖縄県立離島児童生徒支援センター建設に伴う緊急発掘調査報告書-(第92集)	那覇市	金城貴子 具志堅清大	上原静(沖縄国際大学総合文化学部教授)	県教育庁教育支援課	平成26	平成29年3月
9	中城御殿(首里高校内)-首里高校改築に伴う発掘調査-	那覇市	亀島慎吾	黒住耐二(千葉県立博物館) 丸山真史(東海大学海洋学部講師)	県教育庁施設課	平成25～28	平成30年度刊行予定
10	首里城跡継世門北	那覇市	瀬戸哲也	-	内閣府沖縄総合事務局(国営沖縄記念公園事務所)	平成26	平成30年度刊行予定

No.	遺跡名・報告書名等	所在地	担当者	分析指導・協力等	経費負担	調査年度	刊行年月
11	首里城跡 東のアザナ北地区	那覇市	新垣力	野上健紀(長崎大学多文化社会学准教授) 丸山真史(東海大学海洋学部講師)	内閣府沖縄総合事務局(国営沖縄記念公園事務所)	平成 24・25	平成 30 年度刊行予定
12	中城御殿跡	那覇市	山本正昭 田村薫	久保智康(元京都国立博物館名誉館員)	県土木建築部(都市計画・モノレール課)	平成 19～21	平成 30 年度刊行予定
13	キャンプ瑞慶覧 西普天間住宅地区	宜野湾市 (キャンプ瑞慶覧内)	瀬戸哲也 具志堅清大 南勇輔	—	文化庁 県	平成 27・28	平成 30 年度刊行予定
14	白保竿根田原洞穴遺跡	石垣市	仲座久宜	調査指導委員会：稲田孝司(岡山大学名誉教授)、安里嗣淳(サンゴ礁文化研究所所長)、石原与四郎(福岡大学理学部助教)、神谷厚昭(元県立高校教諭)、佐藤宏之(東京大学大学院教授)、土肥直美(琉球大学医学部非常勤講師)、吉村和久(九州大学名誉教授)	文化庁 県	平成 24～28	平成 31 年度刊行予定

※分析指導・協力等は平成 28 年度の実績

3. 普及・活用

平成 28 年度は、5,412 人の方々に当センターをご利用いただいた。企画展や文化講座、夏休み体験学習の開催、また団体見学や職場体験の受け入れや出前講座の実施などを通じて、県民をはじめとする多くの人々が、沖縄県の埋蔵文化財の重要性について理解を深められる機会を提供してきた。

企画展に関しては、6 月に「沖縄県の戦争遺跡」展、「湧田古窯跡出土品」展を開催した。その後 8 月に「発掘調査速報 2016」、10 月には「文化財を復興の力へ」、11 月には「私たちの文化財 図画作品集」、12 月には「琉球大学教育学部コラボ企画埋蔵文化財センターを紹介しよう」、2 月に「重要文化財公開 首里城京の内跡出土品展～憧れの青花～」を開催した。

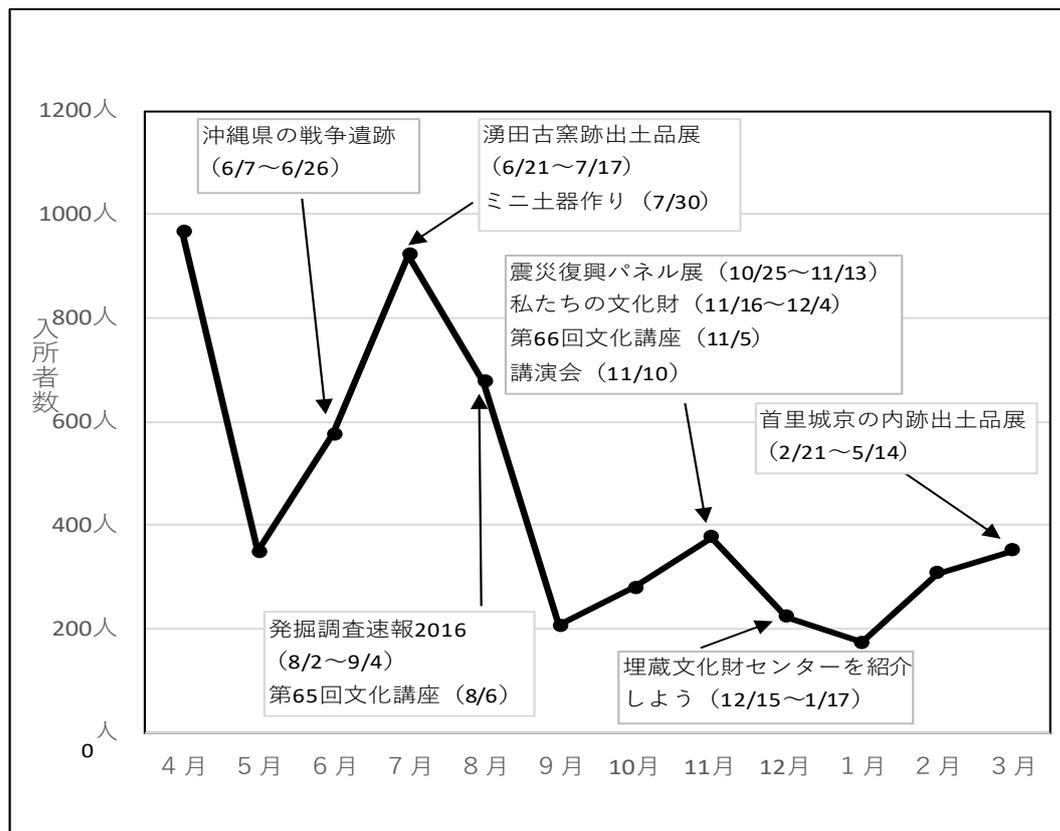
移動展については、12 月に八重山博物館で「白保竿根田原洞穴遺跡」を開催した。文化講座は、企画展に関連した講座を 3 つ実施することができた。夏休み体験学習は 7 月に「ミニ土器作り」を実施し、多くの保護者・児童が参加した。団体見学は、36 団体、1658 人を受け入れ、職場体験は 14 校、計 39 人の生徒を受け入れた。また 9 つの学校に出向いて出前授業を行った。

(1) 入所者一覧

単位：人

月	一般見学						施設利用 ※	総計
	小学生	中学生	高校生	大学生	一般	合計		
4月	732	0	1	7	196	936	30	966
5月	118	7	0	63	162	350	0	350
6月	67	28	46	54	351	546	30	576
7月	51	4	5	11	291	362	559	921
8月	283	14	1	8	215	521	156	677
9月	14	51	12	5	96	178	30	208
10月	107	1	10	12	105	235	45	280
11月	13	0	42	20	179	254	123	377
12月	7	17	18	13	139	194	30	224
1月	14	1	0	2	85	102	72	174
2月	12	2	5	14	244	277	30	307
3月	14	3	1	11	231	260	92	352
合計	1432	128	141	220	2294	4215	1197	5412

※文化講座、資料閲覧、研修室使用等で来所した人数



(2) 団体見学一覧

No	見学月日	曜日	団体名	見学者数 (人)
1	4月13日	水	The Guide	18
2	4月14日	木	西原町立坂田小学校	146
3	4月15日	金	那覇市立与儀小学校	70
4	4月20日	水	西原町立西原東小学校	73
5	4月21日	木	西原町立西原南小学校	62
6	4月21日	木	宜野湾市立普天間第二小学校	120
7	4月26日	火	北中城村立北中城小学校	125
8	4月26日	火	沖縄三育小学校	15
9	4月28日	木	宜野湾市立長田小学校	100
10	5月6日	金	北谷町立北谷第二小学校	90
11	5月12日	木	琉球大学国際教育センター	27
12	5月26日	木	琉球大学国際教育センター	18
13	6月1日	水	沖縄県立中部商業高等学校	20
14	6月2日	木	沖縄県立中部商業高等学校	25
15	6月15日	水	沖縄国際大学	35
16	6月24日	金	JAおきなわ浦添支店年金友の会	25
17	7月1日	金	浦添仲間自治会	45
18	7月14日	木	デイサービスしおさい	24
19	7月20日	水	西原町保育連絡協議会	21
20	8月4日	木	城北児童クラブ	31
21	8月9日	火	青空学童クラブ	139
22	8月10日	水	糸満市子ども会育成連絡協議会	36
23	8月16日	火	にじいろ学童	28
24	8月18日	木	恩納村喜瀬武原こども会	30
25	9月16日	金	宜野湾市内支援学級	64
26	10月7日	金	中城村立中城南小学校	69
27	10月8日	土	まどか学童クラブ	30
28	10月23日	日	浦添市老人クラブ連合会	28
29	11月8日	火	琉球大学国際教育センター	16
30	12月2日	金	糸満市西崎福地地域デイサービス	16
31	12月8日	木	糸満市西崎1丁目自治会デイサービス	20
32	12月15日	木	琉球大学人類学専攻	35
33	12月15日	木	JA浦添支店支部長会	20
34	2月3日	金	恩納村公民館職員の会	15
35	2月28日	火	与論町文化財保護審議会	9
36	3月17日	金	沖縄県立博物館ボランティア	13
合 計				1658

(3) 活動実績

①企画展

	名 称	期 間	観覧者数 (人)
1	沖縄県の戦争遺跡	平成 28 年 6 月 7 日～6 月 26 日	466
2	湧田古窯跡出土品展～琉球窯業の萌芽～	平成 28 年 6 月 21 日～7 月 17 日	527
3	発掘調査速報 2016	平成 28 年 8 月 2 日～9 月 4 日	721
4	文化財を復興の力へ	平成 28 年 10 月 25 日～11 月 13 日 (当センター)	263
		平成 29 年 3 月 6 日～3 月 10 日 (県民ホール)	
5	移動展「白保竿根田原洞穴遺跡」	平成 28 年 12 月 9 日～12 月 18 日 (八重山博物館)	464
6	琉球大学教育学部コラボ企画埋蔵文化財センターを紹介しよう	平成 28 年 12 月 15 日～平成 29 年 1 月 17 日	163
7	重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展～憧れの青花～」	平成 29 年 2 月 21 日～5 月 14 日	1,775
合 計			4,379

②埋文コレクション

No.	名 称	期 間
1	鬼瓦 (円覚寺跡)	平成 29 年 1 月 5 日～31 日
2	大皿 (円覚寺跡)	平成 29 年 2 月 1 日～28 日
3	香炉 (沖縄産施釉陶器)	平成 29 年 3 月 1 日～30 日

③文化講座

回	名 称	開催日	講 師	参加者数 (人)
第 65 回	発掘調査速報 2016	平成 28 年 8 月 6 日	仲座久宜、山本正昭、宮城淳一、大堀皓平	56
第 66 回	文化財を復興の力へ	平成 28 年 11 月 5 日	半澤武彦、具志堅清大	27
第 67 回	憧れの青花	平成 29 年 3 月 25 日	金城亀信、森達也、野上健紀	50
合 計				133

④夏休み体験学習

No.	名 称	開催日	参加者数 (人)
1	夏休み体験学習「ミニ土器作り」	平成 28 年 7 月 30 日	78

⑤ 職場体験

No.	学校名	期 間	参加人数 (人)
1	宜野湾市立宜野湾中学校	平成 28 年 6 月 14 日～ 16 日	3
2	西原町立西原東中学校	平成 28 年 6 月 28 日～ 30 日	3
3	西原町立西原中学校	平成 28 年 6 月 28 日～ 30 日	3
4	沖縄国際大学	平成 28 年 8 月 22 日～ 9 月 2 日	2
5	沖縄県立那覇工業高等学校	平成 28 年 9 月 28 日～ 30 日	3
6	沖縄県立中部商業高等学校	平成 28 年 10 月 25 日～ 27 日	3
7	沖縄県立北中城高等学校	平成 28 年 11 月 8 日～ 10 日	3
8	沖縄県立陽明高等学校	平成 28 年 11 月 9 日～ 11 日	2
9	沖縄県立西原高等学校	平成 28 年 11 月 15 日～ 17 日	3
10	沖縄県立首里東高等学校	平成 28 年 11 月 15 日～ 17 日	2
11	沖縄県立浦添商業高等学校	平成 28 年 11 月 16 日～ 18 日	2
12	沖縄県立知念高等学校	平成 28 年 11 月 16 日～ 18 日	2
13	沖縄県立首里高等学校	平成 28 年 12 月 7 日～ 9 日	4
14	浦添市立浦添中学校	平成 28 年 12 月 14 日～ 16 日	4
合 計			39

⑥ 出前授業

No.	学校名	内 容	日 付
1	沖縄県立北部農林高等学校	沖縄の先史時代	平成 28 年 4 月 19 日
2	宜野湾市立大山小学校	沖縄の先史時代	平成 28 年 4 月 28 日
3	沖縄県立球陽高等学校	沖縄の先史時代 琉球王国の歴史	平成 28 年 5 月 10 日
4	沖縄県立コザ高等学校	沖縄の先史時代 琉球王国の歴史	平成 28 年 6 月 28 日
5	沖縄県立那覇高等学校	戦争遺跡とは何か	平成 28 年 7 月 8 日
6	NPO 法人ライフサポートささえ愛	沖縄の先史時代	平成 28 年 8 月 2 日
7	沖縄県立八重山高等学校	八重山の歴史	平成 28 年 12 月 20 日
8	竹富町立竹富小学校	沖縄の先史時代～出土物か ら貝塚時代に触れよう～	平成 29 年 1 月 24 日
9	沖縄県立伊良部高等学校	沖縄の先史時代 琉球王国の歴史	平成 29 年 1 月 24 日

⑦ 現地説明会

No.	名 称	開催日	参加人数 (人)
1	大嶺村跡	平成 28 年 6 月 19 日	51
2	白保竿根田原洞穴遺跡	平成 28 年 7 月 2 日	48
3	円覚寺跡、真珠道跡	平成 28 年 9 月 24 日	119
合 計			218



重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展
～憧れの青花～」



湧田古窯跡出土品展～琉球窯業の萌芽～



第 65 回文化講座



円覚寺跡、真珠道跡現地説明会



団体見学



職場体験

4. 資料の貸出・利用

(1) 資料の貸出件数

機関 期間	沖縄県立 博物館・美術館	県内 博物館	県外 博物館	国立 博物館	海外 博物館	その他 大学等	小計
通年	1 (1)	7	0	2	0	0	10 (1)
短期	1	5	0	1	0	3	10
合計	2 (1)	12	0	3	0	3	20 (1)

※ () の数字は重要文化財の貸出件数

(2) 資料の利用件数

機関 目的	県内博物館 教育委員会	県外博物館 教育委員会	国内の大学 研究者等	海外の大学 研究者等	報道機関	その他 雑誌等	小計
遺物閲覧	9	5	17	0	1	0	32
図・写真の 掲載	12	4	3	0	5	3	27
合計	21	9	20	0	6	3	59

5. 研修・職員派遣

(1) 研修

No.	名称	期間	参加者
1	平成 28 年度埋蔵文化財保護行政基礎講座	平成 28 年 8 月 3 日～ 5 日	金城貴子 玉城綾
2	平成 28 年度全国公立埋蔵文化財センター 第 28 回研修会	平成 28 年 10 月 20 日～ 21 日	瀬戸哲也 宮城淳一

(2) 職員派遣

No.	依頼内容	派遣先・依頼機関	期間	派遣職員
1	新沖縄県史編集協力会議	沖縄県公文書館・沖縄県 教育庁文化財課	平成 28 年 5 月 11 日	山本正昭
2	平成 28 年度 第 1 期首里城講座	首里城公園・一般財団法人 沖縄美ら島財団	平成 28 年 6 月 3 日 平成 28 年 6 月 10 日 平成 28 年 7 月 1 日 平成 28 年 7 月 8 日	新垣力 金城貴子 金城亀信 仲座久宜
3	第 1 回新沖縄県史編集協力会議 (安里・吉田班)	沖縄県公文書館・沖縄県 教育庁文化財課	平成 28 年 7 月 14 日	山本正昭
4	『沖縄県史図説編前近代』第 2 回 新沖縄県史編集協力会議(豊見山・ 納富班) 『沖縄県史図説編前近代』第 2 回 新沖縄県史編集協力会議(安里・ 吉田班)	沖縄県公文書館・沖縄県 教育庁文化財課	平成 28 年 8 月 4 日	山本正昭
5	新規発見された壕跡(第二国仲美 里の壕)の現場指導	宮古島市・宮古島市教育 委員会	平成 28 年 8 月 21 日 ～ 22 日	山本正昭
6	『沖縄県史図説編前近代』第 3 回 新沖縄県史編集協力会議(安里・ 吉田班)	沖縄県公文書館・沖縄県 教育庁文化財課	平成 28 年 8 月 24 日	山本正昭
7	新沖縄県史編集協力会議(麻生・ 城間班 第 2 回)	沖縄県公文書館・沖縄県 教育庁文化財課	平成 28 年 9 月 14 日	山本正昭
8	『沖縄県史図説編前近代』第 4 回 新沖縄県史編集協力会議(安里・ 吉田班)	沖縄県公文書館・沖縄県 教育庁文化財課	平成 28 年 9 月 21 日	山本正昭
9	『沖縄県史図説編前近代』第 6 回 新沖縄県史編集協力会議(安里・ 吉田班)	沖縄県公文書館・沖縄県 教育庁文化財課	平成 28 年 10 月 14 日	山本正昭
10	新沖縄県史編集協力会議(麻生・ 城間班 第 4 回)	沖縄県公文書館・沖縄県 教育庁文化財課	平成 28 年 10 月 25 日	山本正昭
11	御物グスク視察、沖縄県史図説編 集のための資料収集	沖縄県公文書館・沖縄県 教育庁文化財課	平成 28 年 11 月 11 日	山本正昭
12	新規発見された壕跡に関する現場 指導	宮古島市・宮古島市教育 委員会	平成 28 年 11 月 15 日 ～ 16 日	山本正昭
13	新沖縄県史編集協力会議(麻生・ 城間班 第 5 回)	沖縄県公文書館・沖縄県 教育庁文化財課	平成 28 年 11 月 22 日	山本正昭
14	第 7 回新沖縄県史編集協力会議 (安里・吉田班)	沖縄県公文書館・沖縄県 教育庁文化財課	平成 28 年 12 月 2 日	山本正昭

No.	依頼内容	派遣先・依頼機関	期間	派遣職員
15	第7回新沖縄県史編集協力会議 (豊見山・納富班) 第8回新沖縄県史編集協力会議 (安里・吉田班)	沖縄県公文書館・沖縄県 教育庁文化財課	平成28年12月22日	山本正昭
16	第9回新沖縄県史編集協力会議 (安里・吉田班)	沖縄県公文書館・沖縄県 教育庁文化財課	平成28年12月22日	山本正昭
17	新沖縄県史編集協力会議（麻生・ 城間班 第6回）	沖縄県公文書館・沖縄県 教育庁文化財課	平成29年1月10日	山本正昭
18	第9回新沖縄県史編集協力会議 (豊見山・納富班) 第10回新沖縄県史編集協力会議 (安里・吉田班)	沖縄県公文書館・沖縄県 教育庁文化財課	平成29年2月3日	山本正昭
19	第11回新沖縄県史編集協力会議 (安里・吉田班)	沖縄県公文書館・沖縄県 教育庁文化財課	平成29年2月3日	山本正昭
20	新沖縄県史編集協力会議（麻生・ 城間班 第7回）	沖縄県公文書館・沖縄県 教育庁文化財課	平成29年2月17日	山本正昭
21	平成28年度公開活用事業文化講 座「最新の研究が解き明かす宮古 の歴史」講師派遣	宮古島市・宮古島市教育 委員会	平成29年2月24～ 25日	山本正昭
22	第12回新沖縄県史編集協力会議 (安里・吉田班)	沖縄県公文書館・沖縄県 教育庁文化財課	平成29年3月9日	山本正昭
23	新沖縄県史編集協力会議（麻生・ 城間班 第8回）	沖縄県公文書館・沖縄県 教育庁文化財課	平成29年3月21日	山本正昭
24	友利遺跡発掘調査出土の中国産陶 磁器に関する資料整理指導	宮古島市文化財資料室・ 宮古島市教育委員会	平成29年3月23～ 24日	瀬戸哲也

※ No.15・16、No.18・19 は同日に開催



徽 章 スイジガイ

沖縄の先史時代には貝を利用した用具や装飾品が多く、貝器文化が大きな特徴となっています。そのなかでスイジガイ（水字貝）製品は広く県内の遺跡から出土する代表的な貝器です。また、近年まで魔除けとして家畜小屋や家の前に吊す風習も広く分布していました。

平成 28 年度
沖縄県立埋蔵文化財センター年報

編集・発行 沖縄県立埋蔵文化財センター

〒 903-0125

沖縄県中頭郡西原町字上原 193 番地の 7

TEL (098) 835-8751

FAX (098) 835-8754
